

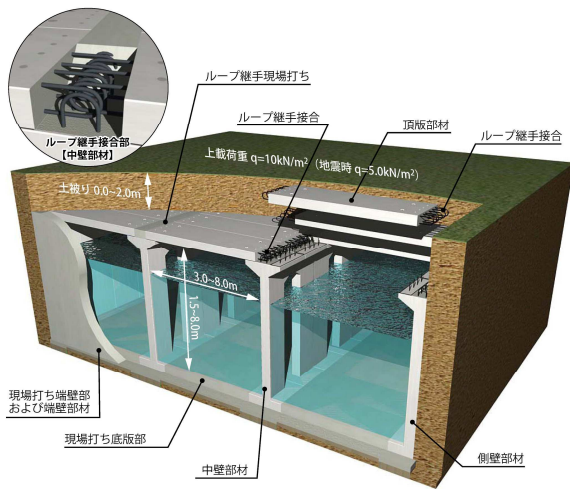
技術概要書（様式）

※別紙2

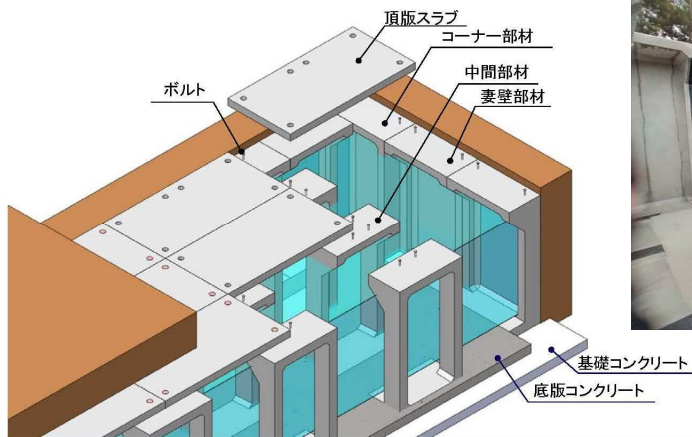
出展技術の分類	安全・防災 <input checked="" type="radio"/> インフラDX <input type="radio"/> 維持管理 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> 品質 <input type="radio"/> （該当分類に○を付記）																		
技術名称	アクアポンド（L型，M型，S型）	担当部署	技術本部																
NETIS登録番号	掲載終了QS-100001-A（M型）	担当者	田中圭司																
社名等	株式会社ヤマウ	電話番号	092-718-2266																
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機																		
	<p>近年，全国各地で豪雨等による水害や土砂災害が発生するなど，人命や社会経済への甚大な被害が生じている。これら気候変動に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対し，防災・減災が主流となる社会を目指し，「流域治水」の考え方に基き，堤防整備，ダム建設・再生などの対策をより一層加速し，集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進している。</p> <p>これまでの総合治水対策は，急激な市街化に伴って生じる新たな宅地開発や地面の舗装等による雨水の河川への流出量の増大に対して，都市部の河川において，開発による流出増を抑える対策として調整池の整備等などの対策を実施してきた。今後は，気候変動による降雨量の増加に対応するため，都市部のみならず全国の河川に対象を拡大し，河川改修等の加速化に加え，流域のあらゆる既存施設を活用して，リスクの低いエリアへの誘導や住まい方の工夫も含め，流域のあらゆる関係者との協働により，流域全体で総合的かつ多層的な対策を実施するものとしている。</p> <p>上記の背景を踏まえ，規格化されたプレキャスト製のコンクリート部材を採用して，雨水貯留槽を構築する技術として開発したものである。</p>																		
	2. 技術の内容																		
	<p>規格化されたプレキャスト製の壁部材・頂版部材と現場打ちコンクリートの底版で構築する多径間で空間貯留型の雨水貯留槽である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高い貯留率を有し、部材の組み合わせにより設置場所の敷地に合わせた施設の構築が可能であり施設上部の空間利用が可能である。 ・ 実用上必要とされる耐震性能を有している。 ・ 主要部材は、すべてプレキャストコンクリート製の部材であり、据え付け、組み立てが容易であり現場打ちによる施工と比較し、工期短縮や省力化図れる。 ・ 施設内部に人が入れ、維持管理作業用の機材を搬入可能な開口空間が確保されている。また、維持管理用のピットや溝を構築することも可能である。さらに、底版部には、排水勾配を構築して、土砂の堆積による清掃作業の効率化が図られている。 																		
	3. 技術の効果																		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">アクアポンドL型</td> <td style="width: 5%;">…</td> <td style="width: 20%;">内空高1.5～8.0m</td> <td style="width: 20%;">土被り0.0～1.5m</td> <td style="width: 35%;">上載荷重10kN/m²</td> </tr> <tr> <td>アクアポンドM型</td> <td>…</td> <td>内空高2.0～4.0m</td> <td>土被り0.0～1.0m</td> <td>上載荷重10kN/m²</td> </tr> <tr> <td>アクアポンドS型</td> <td>…</td> <td>内空高1.0～2.0m</td> <td>土被り0.1～1.0m</td> <td>上載荷重10kN/m²</td> </tr> </table>					アクアポンドL型	…	内空高1.5～8.0m	土被り0.0～1.5m	上載荷重10kN/m ²	アクアポンドM型	…	内空高2.0～4.0m	土被り0.0～1.0m	上載荷重10kN/m ²	アクアポンドS型	…	内空高1.0～2.0m	土被り0.1～1.0m	上載荷重10kN/m ²
アクアポンドL型	…	内空高1.5～8.0m	土被り0.0～1.5m	上載荷重10kN/m ²															
アクアポンドM型	…	内空高2.0～4.0m	土被り0.0～1.0m	上載荷重10kN/m ²															
アクアポンドS型	…	内空高1.0～2.0m	土被り0.1～1.0m	上載荷重10kN/m ²															
4. 技術の適用範囲																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">アクアポンドL型</td> <td style="width: 5%;">…</td> <td style="width: 20%;">省力化 0.42</td> <td style="width: 20%;">， 工程 0.60</td> <td style="width: 35%;">（現場打ち貯留槽比較）</td> </tr> <tr> <td>アクアポンドM型</td> <td>…</td> <td>省力化 0.34</td> <td>， 工程 0.76</td> <td>（現場打ち貯留槽比較）</td> </tr> <tr> <td>アクアポンドS型</td> <td>…</td> <td>経済性 0.64</td> <td>， 工程 0.72</td> <td>（ボックスカルバート製貯留槽比較）</td> </tr> </table>					アクアポンドL型	…	省力化 0.42	， 工程 0.60	（現場打ち貯留槽比較）	アクアポンドM型	…	省力化 0.34	， 工程 0.76	（現場打ち貯留槽比較）	アクアポンドS型	…	経済性 0.64	， 工程 0.72	（ボックスカルバート製貯留槽比較）
アクアポンドL型	…	省力化 0.42	， 工程 0.60	（現場打ち貯留槽比較）															
アクアポンドM型	…	省力化 0.34	， 工程 0.76	（現場打ち貯留槽比較）															
アクアポンドS型	…	経済性 0.64	， 工程 0.72	（ボックスカルバート製貯留槽比較）															
5. 活用実績																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">国の機関</td> <td style="width: 5%;">0 件</td> <td style="width: 20%;">（九州 0 件</td> <td style="width: 20%;">、九州以外 0 件</td> <td style="width: 35%;">）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>21 件</td> <td>（九州 21 件</td> <td>、九州以外 0 件</td> <td>）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>21 件</td> <td>（九州 19 件</td> <td>、九州以外 2 件</td> <td>）</td> </tr> </table>					国の機関	0 件	（九州 0 件	、九州以外 0 件	）	自治体	21 件	（九州 21 件	、九州以外 0 件	）	民間	21 件	（九州 19 件	、九州以外 2 件	）
国の機関	0 件	（九州 0 件	、九州以外 0 件	）															
自治体	21 件	（九州 21 件	、九州以外 0 件	）															
民間	21 件	（九州 19 件	、九州以外 2 件	）															

6. 写真・図・表

【アクアポンドL型】



【アクアポンドM型】



【アクアポンドS型】

